

楽しさは 美味しさの調味料

mil・meal

ミルミール

2011年秋号

発行責任者 ミールケア編集室
発行所 株式会社ミールケア
〒380-0921 長野県長野市栗田8番地1
TEL.026-269-8800 FAX.026-269-8813
<http://www.mealcare.co.jp>
<http://www.mealma-ma.com>
連絡先 フリーダイヤル0120-088-348
E-mail : info@mealcare.co.jp



お客様インタビュー

- 1 学校法人白梅・白梅幼稚園
みーる劇団、福島公演へ

ミールケアNEWS

- 3 さんまの食育を通して、感謝の気持ちを育む
～若草幼稚園～

- 4 今年も美味しい「新米」、届けます！
新米フェア実施

～春野ケアセンターそよ風・シルバーホームまつしろ

ミールケア／研修・セミナー報告

- 5 伊那食品工業株式会社様の研修に参加して
- 5 ～四国管財・ネットヨタ南国へ～自分の成長が会社の成長へのプロセス
- 5 ～NPO法人テラ・ルネッサンス～鬼丸昌也氏の講演を聞いて
- 5 ～鬼沢慎人氏の講演から～「多くの気づき」に感謝

みーる劇団、福島公演へ

～進化する私たち～

学校法人白梅
白梅幼稚園

お客様インタビュー

園長 橋本希義 様

学校法人白梅 白梅幼稚園
住所：福島県会津若松市一箕町大字
亀賀字北柳原42-1
電話：0242-22-3465

平成23年4月から、東北で初めてミールケアの給食サービスを取り入れていただいた、白梅幼稚園様をご紹介します。木をふんだん使った温かみのある園舎は、子どもたちの笑い声がいつも溢れています。「第2のお家という思いで過ごしています。」と語っていただいた園長の橋本希義先生と、元気な子どもたちに囲まれて、安心して美味しい食事を提供させていただいております。今年4月には新園舎も完成し、「いつの日か大きな個性の花をさかせることができる園でありたいですね」と園長先生、今日はたくさんのインタビューにお応えいただきました。

白梅幼稚園について！

●園の特徴を教えてください。
大正5年に創立され、平成23年4月1日より認定子ども園として1歳児〜2歳児の会津保育園と3歳児からの白梅幼稚園として一環した教育機能・子育て支援機能を持つ施設となっています。

●園で大切にしていることは何ですか？
子ども達の感性・表現・創造力を大切にしています。そのために本年度は、園庭に芝を張り裸足で運動できるようにチャレンジさせたいと考えています。そして子ども達が毎日自分で遊ぶものを手で作る環境を大切にしています。

●どのような子どもたちに成長してほしいと考えていますか？
福島県は、放射能汚染問題で大変です。将来卒園した子ども達が様々な分野での経験を基に放射能に立ち向かえる発想が出来る大人になって欲しいと思います。

●ミールケア・給食について
給食を取り入れた理由を教えてください。
園で大切にしていることは何ですか？

数十年前からいち早く外注給食を取り入れて来ました。しかし給食は、こちらが考える思いとかけ離れた内容となり何度か外注先を変えてみました。しかし保育園で調理室を作るのを機に子ども達を考えた素晴らしい会社に出会い決断しました。

●給食や食育へのこだわりを教えてください。
園では、大きな畑で様々な野菜を作り農作業を生活に取り入れています。自分で育てた無農薬野菜を食べる事を大切にしています。また石窯で火を燃やしかぼちゃ・やきいもなど調理しています。自然の味わいを大切に考えています。また短大の先生と協力し食育便りも取り組んでいます。

●ミールケアに望むことは何ですか？
今まで通り子ども達の事を考え安全・安心な自然の味付けをして下さい。

●好きな言葉は何ですか？
「ポジティブ」：私は、生まれながら人間誰でも善であると信じています。子ども達と接する中益々そう思います。何か欠点を探すのではなくいつも夢と創造性を広げ前に一歩進むことです。

●スタッフをまとめる秘訣は何ですか？
いく中、次第に心が開き、役そのものになりきってきたように感じます。当日は白梅幼稚園の姉妹園東行仁幼稚園にも伺い演じてきました。そんな白梅幼稚園の三津谷チーフから嬉しいメールが届きました。「みーる劇団の皆様、当日は朝早くからお越しいただきありがとうございました。（中略）」

食育のプロ・みーる劇団、全国に向け発信中です。



秋空の澄みきった福島県会津若松市。ここは今年の4月より受託を開始している白梅幼稚園です。園児数約300名のこの幼稚園は、木のぬくもりと温かさ懐かしい木のおいにお包まれた大きな園です。

3月の震災で今も続く不安の中、子供たちに元気な姿を見せてほしい、喜んでもらいたい！そう思いやって来ました夏の水戸公演から約3か月。多くの反省から、演技と台本を見直してきました。1か月に1回の演技は昨年を引き続き平野秀典先生から指導を受けました。テーマは「進化」：最初のころ、自分たちの演技で精いっぱいでしたが、演じているだけでなく、「メッセージ」を伝えることが役割であると。また、「ミールケアとしての食育」とは？メッセージ力は？試行錯誤して



り理解し、友達同士で「よく噛んで食べるんだよ」と教えあっている姿を見ると、劇の影響力の大きさと学ぶ力に感心させられました！私たちが負わず、食育に力を入れていきます。本当に嬉しいメールです。この活動は、仕事としてとらえることも重要ですが、ひとつの物事に向き合い、共に目的を達成する喜びをひしひし感じてきた福島公演でした。これからも一歩一歩前進するみーる劇団であり続けます。（記：みーる劇団 田子美津子）



姉妹園の「東行仁幼稚園」



今年もお米の実りに感謝!

(記・栄養管理部 橋詰 豊)

アジの塩焼き、ふろふき大根、野沢菜とご飯を美味しく食べていただくメニューで多くの事業所でもおなじみのメニューができました。笑顔溢れる食事ができるよう、これからもメニューを作り続けます。



お米がツヤツヤしています。さつま汁・ごはん・ふろふき大根・野沢菜など、最高でした。



春野ケアセンターそよ風(さいたま市)



シルバーホームまつしろ(長野市松代)

今年も美味しい信州の「新米」届けます!
新米フェア実施しました。
 春野ケアセンターそよ風／シルバーホームまつしろ



「さんま」を通して、感謝の気持ちを育む。
 若草幼稚園

さわやかな秋の真っ青な空に少しずつ赤くなり始めた木の葉が映える季節、10月17日学校法人天周学園 若草幼稚園にて毎年恒例の「さんまの食育」を行いました。一年間で最も大きな食育です。まずさんまの体の観察です。「目が黒い!」「口が黄色い!」「どんな風に泳いでいるのかな?」など。そのうちにあらかじめ焼いていたさんまから「ブーン」と香ばしい良い香りが始め、園児たちは焼き台のさんまに釘付け。
 最後は、「命をいただく・感謝の気持ち」人間は動植物の命をいただいで大きく成長しています。いつもありがとうございますの気持ちを持って食事をいただきますよ」と。
 教室では、焼きあがったさんまの骨をお箸を使って取り、食べる練習です。普段はお魚が苦手だったり、一尾食べることもない園児たちでしたが、この日は骨も上手にとって完食。さんまの命を大事にし、感謝の気持ちで食事をした素直な園児たちに私たちスタッフも改めて食の大切さを学んだ一日でした。これからも知識を学び、子供に伝えてきます。
 (記・幼保担当 栄養士 浅山 美子)



骨が上手にとれました。



さんまって、どこに住んでる?



いただきます〜。



初期の簡易型サーベイメータ

今年3月11日の東日本大震災に続いて発生した福島第一原子力発電所事故。お客様は給食で提供される食事が本当に安心して食べられるのか、汚染されていないのかと不安になっています。特に幼い子どもを持つ親にとっては、我が子を守るために、命がけでも安全な食事を食べさせようと、情報を集めています。

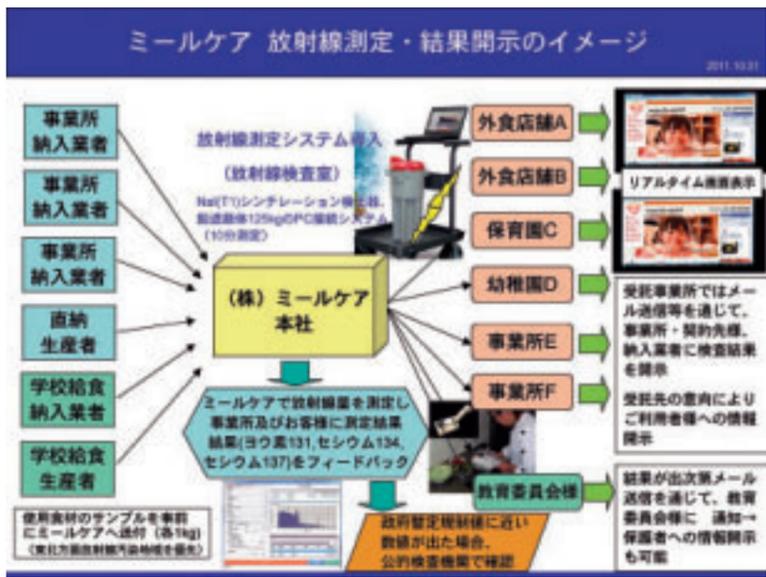
ミールケアにおける放射線測定システム導入

考えています。現在は長野と関東に各1台、富士電気製の「簡易型サーベイメータ・表面汚染測定器」を配置し、ミールケア独自基準にクリアしていることを各事業所にフィードバックし、情報を開示しております。更に今年11月末には、スペックの高い放射線測定システムを導入致します。

新規に導入する測定システムは、地方自治体でも導入されている「日立アロカメディカル社」のもので、約10分間の計測でヨウ素131・セシウム134・セシウム137の核種別測定ができます。

あらかじめ納入業者や生産者様からサンプルを取り寄せ、測定した結果を本社からインターネットを経由し、幼稚園・保育園、外食店舗に設置する画面でリアルタイム表示出来るよう、独自のシステムを開発しています。新しい情報を常に開示しお客さまや子供たちが安心して召し上がって頂ける体制が整います。

今私たちにできるお客さまへ食材の提



供方法のひとつとして捉え、安心で安全な食材選定に努めてまいります。
(記・購買部 橋詰豊)



ママの「ずくろっけ」

「ずくろっけ」とは、信州が生んだコロッケです。信州には「ずく」という方言があります。「ずく」とは、「さあ、一緒に頑張ろう!」「みんなで助け合おう!」という意味で、私たちはその言葉を合言葉にして、思いやりの心も育まれた信州人として成長して来ました。

信州は、空気も、山も、水も、キレイな自然の宝庫です。美味しい野菜がたくさんあります。素材と、思いやりの「ずく」、そして安心安全で健康にこだわったコロッケが「みるま〜ま」の「ずくろっけ」なのです。ほくほくした信州南牧村の白土じゃがいも、野沢菜やキノコ山菜などをふんだんに使っています。そして、極めは地鶏を使った鶏コロッケは最高です。

現在ママにてランチ、ディナーでお召し上がりいただけます。
(記・外食部 小林純二)

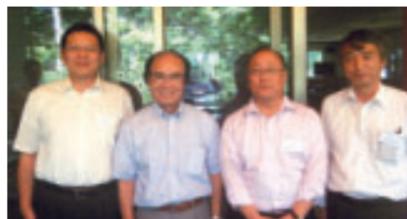
ブロックス主催 実践学習会 伊那食品工業(株)様の研修参加

in伊那

この実践学習会は、「仕事の原点勉強会」等使っている企業を直接訪問し、そこで働く社員や、経営者の話を聴きながら、仕事を体感できる素晴らしい研修です。



伊那食品工業 本社



左から2人目が、伊那食品工業 塚越会長

長野県伊那市にある伊那食品工業(株)、伊那谷の広大な森林の中に、工場やギャラリー、かんてんばがあり全国的に有名なところです。7月15日、16日そこで行われた研修に参加させていただきました。

早朝より従業員の方が自主的におこなっている清掃を体験。広大な敷地の中、どこもきれいに清掃されていて気持ちのよい空間でした。黙々と気づくところを清掃し、全くやらされている感を感じさせません。

また大変貴重な塚越会長のお話を聞かせていただくことができました。会社の社是「いい会社をつくりましょう」会社経営の目的は「社員の幸福を通しての社会貢献」。どれだけファミリーとし

実践学習会 四国管財・ネットヨタ 南国へ自分の成長が会社の成長へのプロセス

in四国

6月から始まった「おもてなし研修」。7月の中間発表会で「優勝」社長賞を頂き9月8日・9日、実践学習会四国研修に参加させて頂くことができました。四国管財はビルメンテナンスを業として、お客さまからのクレームを満足に変える会社です。

またネットヨタ南国は社員のやりがいを見出し、「日本経営品質賞」を受賞するなどESに力を入れた会社、この2社で学ぶことができました。

四国管財の中澤社長より、「仕事をやらせない、ではなく、下が育たないのはやらない、ではない」という、クレームの上司への報告など速やかに行うことが会社の成長に繋がると話されていました。

また、経営の目的は社員の幸せとおっしゃるネットヨタ南国横田相談役。その中、衝撃を受けたのが、スタッフは経営理念を知らない、でも理念に沿った行動が自然とできているということ。自分たちでやりがいを感じ盛りに

て意識を持って、助け合い・思いやりを持って働けるのを大切にされています。自らが目標を持ち、会社が良くなるためには自分が成長することが必要だとおっしゃっていました。

「仕事は楽しいが楽しい職場」自分の役割とたくさん学びで、末広がりに成長できるようにこれからも頑張ってください。
(記・関東事業部 傳田 正行)



右から大久保寛司様、手前2人目がネットヨタ南国 横田会長

衝撃の話 鬼丸昌也さんの講演を聞いて

in長野

9月16日の全体会議においてNPO法人テラルネットワークス鬼丸昌也さんの講演が行われました。地雷撲滅運動、元子供兵の職業訓練センター開設、また小型銃器規制に取り組みながら世界平和を訴え続けている方でした。：衝撃の話でした。

自分の親の被害を命じられ、昼間は戦場、夜は大人兵の相手をさせられ子供を生んでしまう。貧困が故の社会。こんな現実があることを初めて知り、せつなさや怒りがこみ上げてきました。

鬼澤慎人のさんの講演 「素晴らしい経営の実現を目指して」 「多くの気づき」に感謝

in松本

9月8日まだ暑さ残る中、鬼澤慎人さんの講演会を拝聴する機会をいただきました。本社スタッフ6名で参加させていただきました。講演が始まるや、隣・後ろの方々との挨拶、和やかな雰囲気です。スタート。テンポ良く歯切れよく、あつという間の時間でした。人は自らが体験し、考え実践し、良いことを振り返ることが、人として成長させられます。とかく教わるのに慣れてしまっている現在だからこそ、「気づくこと」の大切さ、「考える力」を養う大切さを改めて教えていただきました。後でわかったのですが、鬼澤さんは、いつもお世話になっているブロックスさんと大きな絆があることを知ったのです。これもご縁であること嬉しさを感じました。

素晴らしい一日をありがとうございました。
(記・総務部 小林サチ子)



東京オフィス、移転しました。

場所は、東京駅八重洲北口より徒歩5分、桜並木のある「さくら通り」の最高な立地です。春になると桜が通りを埋め尽くすであろうとこれから大変楽しみです。また、会議もできる広いスペースを用意しましたので、お近くにお越し際にはぜひお立ち寄りください。
(記・常務取締役 永原正行)



本社周りが変わりました。

通称、長野市「東通り」に写真のようなオブジェが現れました。ミールケアの食育劇と、みーるマーマのキャラクターたちがコラボしています。

見ているだけで、楽しくなります。そして本社の入口アーチにもキャラクターが……。私たちが積極的に進めている食育をテーマにした飾り付けが施されています。

また、本社では全員で清掃に力を入れています。毎日の分担された場所、毎週火曜日の周辺掃除。登校途中の小學生



が「おはようございます！」と元気な挨拶を返してくれます。

キレイな職場で働くこと、お仕事をさせて頂ける周辺の方々への感謝の気持ちを含めて、なんだか清潔らしい気持ちになります。「心を磨く」本社は掃除で磨いていきます。
(記・長野事業部 牧野 哲雄)



(社長のメルマガより)
今年も美味しい「ずく出せ米」を全社員に届けました。

2010年10月11日(月)
早朝から「ずく米」を車いっぴいに積み、役員総出で関東地域を回りました。

今日はユニマットそよ風と幼稚園・保育園を中心に3台で回りました。みなさん本当に喜んでください。「今年も待ってたのよ！」なんて声をかけられると、疲れもぶっ飛びます！ミールケアのビジョンは、「食をとおし世界中の人たちを健康に導く」こと。一番は、ミールケア社員が、極上のあたたかい新米のご飯と極上のあたたかいみそ汁で、家族団らんの幸せをかみしめること。そして、社会に全力で貢献するのです。先ず自分たちが幸せになれずして、人様への幸せは導けないと私は思うのです。さあ、「ずく」出してみんなの夢のために！いっしょに「ずく」しましょう。いつも本当にありがとうございます。感謝。
(記・社長 関 幸博)



◀表紙写真のお子様…左から
関 茉莉花ちゃん (せきまりか…2歳)
横内 美結ちゃん (よこうちみゆ…3歳)
滝澤 牙寅くん (たきざわこたら…3歳)
古川 淳悟くん (ふるかわじゅんご…3歳)

MEAL CARE
株式会社ミールケア

本社 〒380-0921 長野市栗田8-1
TEL.026-269-8800 FAX.026-269-8813
東京オフィス 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-15 田中八重洲ビル
TEL.03-3516-1121 FAX.03-3516-1180 (番号は従来通りです)

経営理念:「嬉しさを実感できる会社を創ります」

事業内容/幼稚園・保育園・KIDS MEAL/医療福祉・事業所等のMEDCA MEAL/自然食レストラン Meal Ma-Ma

● 事業内容に関するお問い合わせは、フリーダイヤル0120-206-121 (お客さま担当: 田子・丸山)